



第4週の発生動向 (2005/1/24~2005/1/30)

1. 感染性胃腸炎については、前週に引き続き五所川原保健所管内を除くすべての保健所管内で多い報告数が続いています。特にノロウイルスを原因とする集団感染は、本県でも多発しています。**手洗いなどの二次感染予防対策を更に徹底することが必要です。**
2. インフルエンザについては、第4週に入り県内すべての地域から報告があり急増したため、今後も注意が必要です。

第4週五類感染症定点把握

保健所名 疾患番号・疾患名	青森		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	
(72) インフルエンザ	6	0.46	21	1.31	51	3.64	27	3.86	10	1.11	7	1.17	122	1.88	97
(60) 咽頭結膜熱							2	0.40			3	0.75	5	0.12	2
(61) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	15	1.88	34	3.09	6	0.67			4	0.67			59	1.37	7
(62) 感染性胃腸炎	58	7.25	80	7.27	30	3.33	4	0.80	27	4.50	63	15.75	262	6.09	-39
(63) 水痘	4	0.50	19	1.73	25	2.78	15	3.00	17	2.83	1	0.25	81	1.88	8
(64) 手足口病	1	0.13	7	0.64	12	1.33			12	2.00			32	0.74	5
(65) 伝染性紅斑			2	0.18	3	0.33			1	0.17			6	0.14	2
(66) 突発性発しん	4	0.50	7	0.64	6	0.67	1	0.20	1	0.17	2	0.50	21	0.49	-6
(67) 百日咳															-1
(68) 風しん															
(69) ヘルパンギーナ	3	0.38	1	0.09									4	0.09	3
(70) 麻疹(成人を除く)															
(71) 流行性耳下腺炎	2	0.25	2	0.18	6	0.67	1	0.20	1	0.17	2	0.50	14	0.33	-8
(73) 急性出血性結膜炎															-1
(74) 流行性角結膜炎															

保健所名	定点数			
	インフルエンザ (内科+小児科)	小児科	内科	眼科 基幹
青森	13	8	5	2
弘前	16	11	5	3
八戸	14	9	5	2
五所川原	7	5	2	1
上十三	9	6	3	2
むつ	6	4	2	1
合計	65	43	22	11

■ は警報です。 ■ は注意報 「空欄」: 患者発生数0

表 以外の感染症法対象疾患 (17年計には、今回届出された人数を含む)

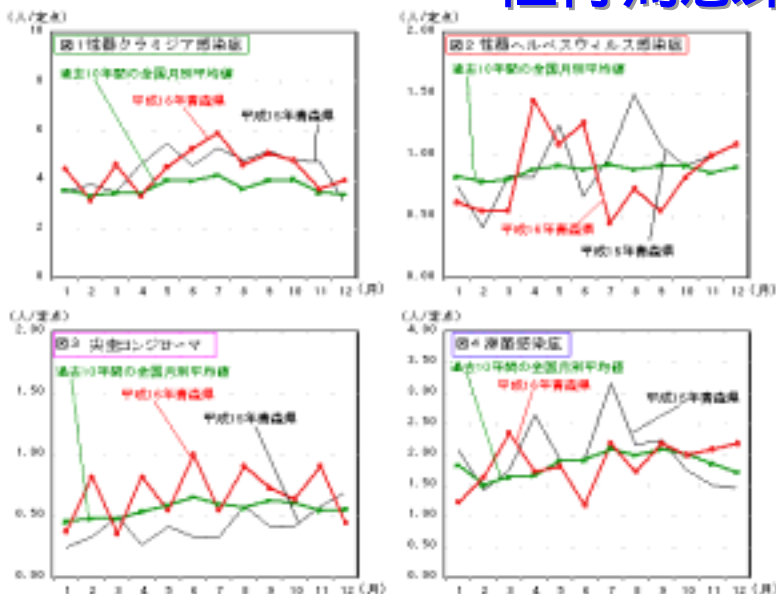
- (59) RSウイルス感染症(五類定点把握疾患) 弘前保健所管内: 1人 (17年計 6人)
- (82) マイコプラズマ肺炎(五類定点把握疾患) 八戸保健所管内: 2人 (17年計 9人)

病原体検出情報

- ・青森保健所管内の一般家庭、弘前保健所管内の高齢者施設及び公立学校、八戸保健所管内の冬季競技会参加者、上十三保健所管内の高齢者施設において下痢、嘔吐、発熱を主症状とした事例があり、1月23日~27日の間に各発症者の便を検査したところ、合わせて26株のノロウイルスが検出されました。
- ・12月下旬に弘前保健所管内の医療機関で採取した鼻汁からインフルエンザB型が分離されました。

感染症の窓

性行為感染症(STD)(平成15年-16年)



**性器クラミジア感染症** 平成15年、16年ともに全国平均を上回る報告数で推移しています。平成16年は7月が最も高い報告数でした。

**性器ヘルペスウイルス** 平成15年は8月に、平成16年は4月に高い報告数となっています。

**尖圭コンジローマ** 平成15年は全国平均値を下回っていましたが、平成16年は1カ月周期で全国平均値を超えていました。

**淋菌感染症** 平成15年、16年ともに、3月から4月、7月に増加しています。平成16年は前年より低い報告数で推移しました。